

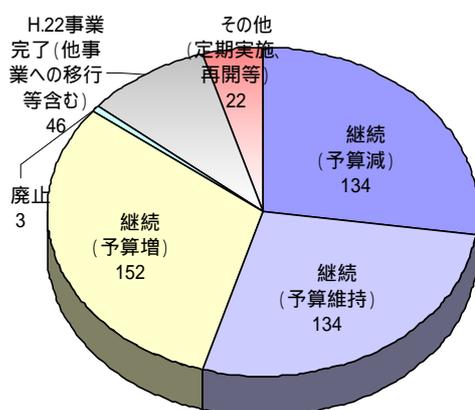
事務事業評価の平成 23 年度当初予算への反映状況について

平成 22 年度に実施した事務事業評価の実施状況及び平成 23 年度当初予算への反映状況をとりまとめましたので公表します。

1. 平成 23 年度当初予算への反映状況について

- ・平成 22 年度に評価した 556 事業のうち、平成 21 年度に完了した 65 事業を除く 491 事業の当初予算への反映状況は、次のとおりとなりました。
- ・継続事業については、平成 22 年度 6 月補正後予算額と平成 23 年度当初予算額の「一般財源」を比較して、反映状況を「継続(予算減)」、「継続(予算維持)」、「継続(予算増)」と区分しています。
- ・491 事業のうち、134 事業は「継続(予算減)」、3 事業は「廃止」となりました。
なお、継続事業の工夫・改善等の取組み内容については、次年度の事務事業シートに記載し、平成 23 年 8 月(予定)に公表します。

平成 23 年度当初予算への反映状況



区分		事業数
継続(予算減)		134
継続(予算維持)		134
継続(予算増)		152
内訳	対象数の自然増	39
	事業推進による増	50
	その他(事務管理経費の増、特定財源の減に伴う一般財源の増など)	63
廃止		3
H.22 事業完了(他事業への移行等含む)		46
その他(定期実施、再開等)		22
合計		491

～ は、平成 22 年度 6 月補正後予算額と平成 23 年度当初予算額の「一般財源」を比較して、区分しています。

【継続(予算減)・廃止の主な事務事業】

平成 23 年度当初予算への反映状況のうち、「継続(予算減)」及び「廃止」の主な事務事業は、次のとおりです。

継続(予算減)

(単位：千円)

事務事業名	H.22.6 月補正後予算比較		説明
	事業予算	うち一般財源	
名張市養護老人ホームみさと園管理運営経費	39,037	19,626	平成 23 年度より民営化
ゆめづくり地域交付金事業	7,032	7,033	交付金総額の見直し
ごみゼロ・リサイクル推進事業	1,682	1,722	ボランティア袋等作成委託料の見直し

廃止

(単位：千円)

事務事業名	H.22.6 月補正後予算比較		説明
	事業予算	うち一般財源	
地域介護相談所運営事業	4,162	4,162	まちの保健室の充実を図り、平成 23 年度より廃止
日常生活用具給付事業	225	225	利用実績がないことから、平成 23 年度より廃止

2. 平成22年度事務事業評価の実施状況について

内部評価

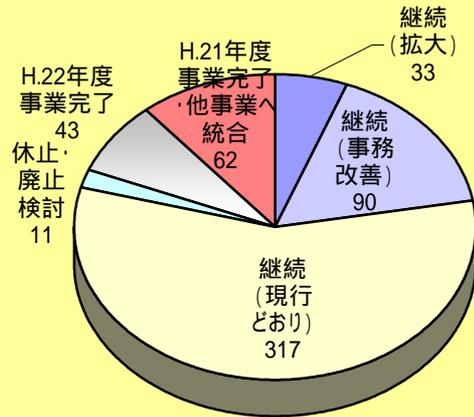
内部評価は、各事業担当室による自己評価です。年度が終了した後に、それぞれの事務事業について、必要性、効果・効率等の観点から、今後の事業の方向性（改善、廃止・休止検討など）の考え方、点検・評価の結果を記載し、事務事業シートを作成します。

平成22年度は7月にシートを作成し、作成した全てのシートを8月より市ホームページ等で公表しました。

平成22年度
内部評価
(公表)

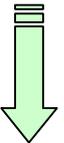
- 各事業担当室が事業の検証・点検を行い、工夫・改善に向けて評価を実施しました。
- 平成22年度には、施設等維持管理、内部管理事務を評価対象に加え、556事業の点検・評価を行いました。（H.21年度は382事業）
- 各事業担当室の内部評価では、556事業のうち、317事業（57.0%）については、「継続（現行どおり）」、90事業（16.2%）については、「継続（事務改善）」の評価でした。

各事業担当室(556事業)の内部評価



外部評価

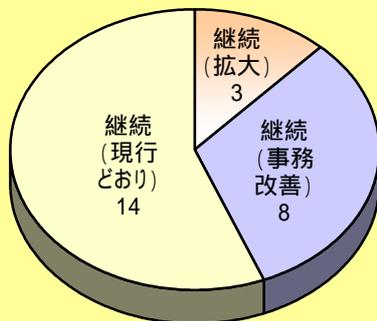
各事業担当室が作成し、公表した事務事業シート（内部評価）について、市民意見の募集を1ヶ月間行うとともに、抽出した25事業について考査委員（外部の学識経験者）が専門的観点から評価を行う事務事業ヒアリングを公開で実施しました。



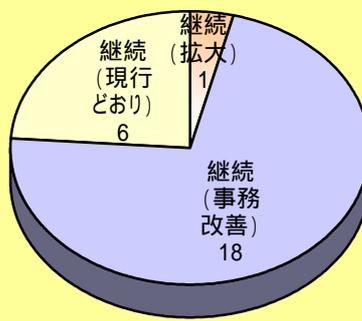
平成22年度
外部評価
(考査委員会
公開ヒアリング)

- 事務事業シートを作成した556事業の中から、事務事業をより良くするための視点、事業分野、考査委員の意見等を踏まえ、25事業を選定しました。
- 事務事業の公開ヒアリングは、各事業担当室が内部評価(事務事業シート)の説明を行い、考査委員(学識経験者)がその成果や必要性などを聞き取りました。（平成22年8月4日・5日・6日）

抽出25事業の内部評価
(事業担当室による評価)



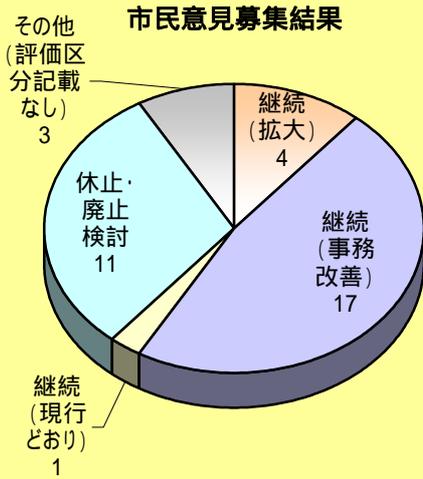
抽出25事業の考査委員会評価



抽出した25事業については、平成22年10月に考査委員会から市長へ報告書が提出されました。報告書は、行政改革推進室のホームページで公開しています。

- 事業担当室の内部評価と考査委員会の評価を比べると、「継続(拡大)」は3事業から1事業に減少し、「継続(事務改善)」は8事業から18事業へと大幅に増加しました。
- シートやヒアリングでは工夫・改善の可能性があるとしながらも、各事業担当室が事業の展開方法を「継続(現行どおり)」と評価していることが主な要因となっています。

外部評価
(市民による評価)

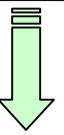


- 各事業担当室の内部評価(事務事業シート)に対して、市民意見を募集しました。(平成22年8月1日～31日)
- 考査委員会の公開ヒアリング会場で提出されたものを含めて、8名・36件の評価・意見があり、意見全体の半数(17件)は、「継続(事務改善)」でした。

市民の皆さんから寄せられた事務事業に対する評価及び意見要旨は、行政改革推進室のホームページで公開しています。

評価の活用

外部評価としての意見や評価等を踏まえ、事務事業の改善や見直し、平成23年度の予算編成等に活用しました。

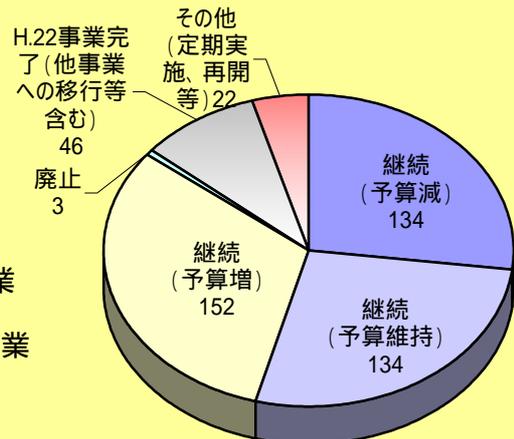


平成23年度当初予算への反映状況

総合評価
各担当部室による再点検
改善・見直し
予算要求

予算編成

- 平成22年度に評価した556事業のうち、平成21年度に完了した65事業を除く491事業の当初予算への反映状況は、右図のとおりとなり、134事業は「継続(予算減)」、3事業は「廃止」となりました。



平成23年度に向けて取組み

平成23年度 内部評価(公表)

各事業担当室による
事務事業シート作成
(自己評価)

- 新規事業も含め、事務事業の点検・評価を実施し、事務事業シートを作成します。
- 作成したシートは、平成23年8月(予定)に市ホームページ等で公表します。

平成23年度 外部評価
(考査委員会による評価、市民による評価)